

那須烏山市
校務 DX 計画

1 校務 DX を推進する上での現状と課題

学校と保護者間でのやりとりがクラウド化されていないものが多いほか、FAX と押印を必要とする場面が存在し、教職員の負担となっている。また、教職員によって ICT スキルに差があり、新しいシステムやツールに抵抗感を持っている場合もある。

環境面においては、本市は教育ネットワークを「校務系」「学習系」の2つに分離しており、教職員は端末を複数所持している。

2 校務 DX を推進するための課題解決策

○ ゼロトラスト環境の構築

教職員の働き方改革と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストセキュリティの考え方に基づいた校務系・学習系ネットワークの統合について調査研究を進めることとする。

→環境の構築により、教職員が校務系・学習系の端末を1台ずつ持つ必要がなくなるとともに、働く場所にとらわれないロケーションフリーの働き方に寄与する。

○ 校務支援システムのクラウド化

現状、教育委員会内のセンターサーバ内にオンプレミス型で校務支援システムを運用しているが、ゼロトラスト環境を目指し、校務支援システムのクラウド化を目指す。

○ 保護者・学校間の連絡ツールの導入

令和7年度に保護者連絡アプリを導入することで、欠席等の連絡をオンラインで行うことができる。また、学校側も保護者への各種配布物等をアプリを用いてデジタルでの配布が可能になる。

○ FAX・押印の見直し

FAX の過度な利用や不必要な押印はクラウド環境を用いた校務 DX を大きく阻害するものと考えられるため、真に必要な場合を除いて廃止することとし、クラウドツールの活用を推進する。

○ 教職員の ICT リテラシーの向上

クラウドベースの環境推進のために教職員のスキル向上は不可欠であることから、適切な情報提供のほか、研修や ICT 支援員によるサポートを活用し、ゼロトラスト環境の構築を進める。